

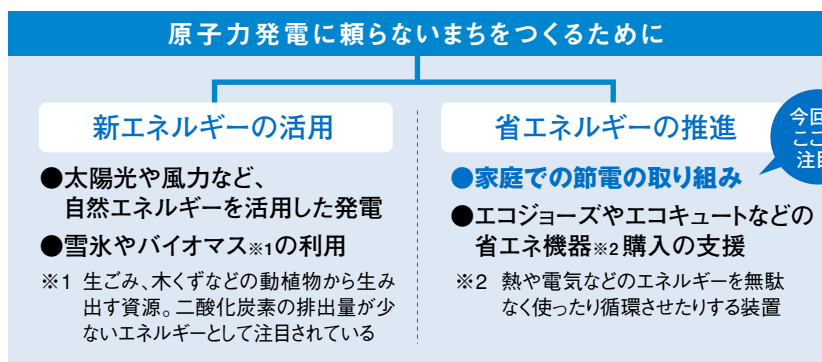
みんなで実践！ 簡単節電術

私たちの暮らしを支えている電気。その大切さが、今見直されています。
そこで今回は、家庭での節電の必要性を考えるとともに、簡単に取り組める節電術を紹介します。

【詳細】環境計画課 ☎211-2877

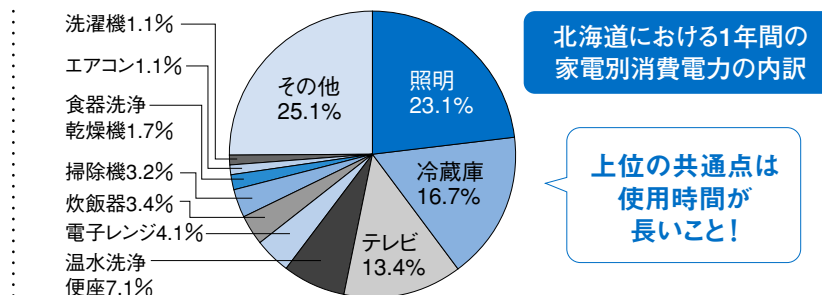
Q なぜ今、節電を考えるの？

異常気象をもたらしている地球温暖化や、3月に発生した福島第一原子力発電所の事故を受け、エネルギーの在り方が見直されています。札幌市は、市民が安心して暮らすことができるよう、原子力発電に頼らないまちを目指します。その実現のためには、環境に優しい新たなエネルギーの活用と同時に、「節電」をはじめとする省エネルギーの取り組みを進めることが必要になります。



Q 節電といっても、電化製品はたくさんあるし、何から手を付けて良いのか…

消費電力量は、その家電の「電力(W)^{ワット}×使用時間」で決まります。消費電力の多い家電といえば、道外ではエアコンが1位ですが、北海道は「照明」「冷蔵庫」「テレビ」が上位。電子レンジや掃除機などは、一度に消費する電力は大きいものの、使う時間が短いため消費電力の総量はそれほどではありません。



まずはここから！

「照明」「冷蔵庫」「テレビ」など、
使用時間の長い家電の使い方を工夫しよう！

冬の節電に挑戦するモニターを募集

電力の消費量や料金を“見える化”できる「ワットチェッカー」を使って、12月からの3カ月間の電力消費量を計測。前年比マイナス15%を達成した世帯に共通ウィズユーカード(500円分)を差し上げます。※ワットチェッカーは貸し出します。

定員500世帯

申込11/1(火)から市コールセンター

☎222-4894へ。先着

現在取り組み中！夏の節電モニターさんに聞きました

モニターになってから、小まめにデータをとって節電に取り組んでいます。その結果、昨年と比べて8月の電気代を13%安くすることに成功！タオルで念入りに髪を拭いてからドライヤーを使ったり、床の物を整理してから掃除機をかけたりするなど、ちょっとしたことの積み重ねが節電につながると実感しています。家族で節電について話さきっかけにもなり、楽しみながら取り組めるので皆さんもチャレンジしてみては？

前年比マイナス15%の節電を目指す しみずともこ 清水朋子さん

